

国内外の量子科学技術分野における次世代を担う人材の育成

放射線に関する専門機関として、放射線防護や放射線の安全取扱い等に関係する専門人材の育成及び国民へ放射線に関する知識を幅広く伝える人材の育成

大学生、大学院生等 若手人材育成

- QSTリサーチアシスタント制度運用、受入れ
(実習生や連携大学院生を任期制職員として雇用する制度)
- 実習生、大学院生、研究員等の受入れ
- QSTサマースクール生の受入れ



等

専門家・指導者養成

- 重粒子線がん治療施設にて国内外より医療関係者等を受入れ、実務訓練(OJT)等を実施

等

理解促進活動

- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の受入れ
- 出前授業の実施

等

専門家養成

放射線利用

被ばく事故 対応

- 放射線の利用に係る技術者養成研修の実施
- 放射線被ばく事故時の対応に係る初動対応の研修の実施
- 文科系学生のための放射線防護研修の実施

等



放射線教育支援

子どもたちが放射線を科学的根拠に基づいて理解し、リスクを適切に判断して対応できる力を育む

- 「やさしい放射線用語事典」を作成
- 中学校等への出前講義
- 学校からの依頼に基づく研修の実施
- 理科、技術・家庭科教員のための研修の実施

等

特徴

- レーザーやイメージング等最先端施設・設備を利用した多岐に亘る研究環境の提供
- 重粒子線がん治療装置による実務訓練の実施
- 放射線利用や被ばく事故対応に関する専門人材の養成
- 初等・中等教育からの放射線に関する知識醸成